



赤山禅院 (福祿)

妙高寺 (大黒天)

行願寺 革堂 (寿老)

及びす神社 (恵比須)

六波羅蜜寺 (弁才天)

東寺 (毘沙門天)

萬福寺 (布袋尊)

北

京都中心部

京都駅より南

# 新春にお参りすると、より大きな**ご利益**が

彗びす神、大黒天、毘沙門天など七福神が宝船に乗った絵を、正月二日に枕の下に入れて寝ると幸運が訪れると言い伝えられるなど、古くから民衆の間で信仰のあった七福神。京都ではとくに「都七福神めぐり」が親しまれています。都七福神を祀る社寺をお参りすることで福をもたらされるとされる「都七福神めぐり」は、特に1月にお参りすると、「七難即滅、七福即生極まりなし」と言われ、功德が大きいとされています。市内に点在する七福神をお祀りする社寺をめぐりながら、京都のお正月の雰囲気を楽しみましょう。

# ゑびす神社

西宮、大阪今宮神社と並んで、  
日本三大ゑびすの1つで、都七福神めぐりでは、  
ただ1つの神社です。

言わずと知れた、商売繁盛の神様で、  
お正月の「十日戎」は、毎年、すごい人です。

屋台がたくさん出て、お祭りのような  
雰囲気がありますが、

ゆっくりと参拝したいなら、1月8～12日は、  
避けたほうがいいかもしれませんね。

鳥居の上の恵比寿像は、額めがけて  
お賽銭を入れるようになっていまして、  
人が少なかったら、ぜひ試してみてくださいね^^

## 【ゑびす神社】

東山区大和大路通四条下る

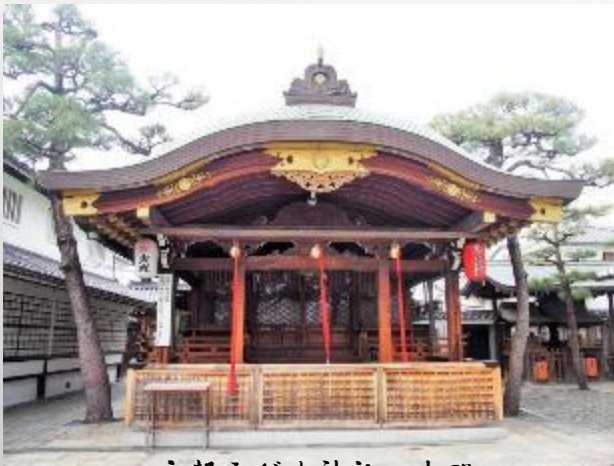
075-525-0005

[HTTP://WWW.KYOTO-EBISU.JP/](http://www.kyoto-ebisu.jp/)



建仁2年(1202年)、日本の臨済宗の祖である栄西禅師が建仁寺を建立するにあたり、その鎮守社として自身が建久2年(1191年)に南宋から帰国する際に海上で暴風雨から守ってくれた恵美須神を主祭神として勧請し、創建された。応仁の乱後に現在地に移転する。

えびす信仰における笹は、京都ゑびす神社独自の「御札」の形態が広まったものとされ、「節目正しく真直に伸び」「弾力があり折れない」「葉が落ちず常に青々と繁る」といった特徴から家運隆昌、商売繁盛の象徴とされる。



京都ゑびす神社の本殿

商売繁盛の神社らしく、本殿の向かって左には大丸の白いちょうちんが、向かって右には高島屋の赤いちょうちんが奉納されています。



境内に入らず出迎えてくれるのが、この満面の笑みのえびす様の像。右手に竿を持ち、左脇には釣った鯛を抱えています。



縁固めのご利益がある小松天満宮

境内摂社の小松天満宮は「足止め天神」と呼ばれており、お参りすると家でした人が帰ってくるといわれています。